

子どもの夢を育てる学校

今年度、大麻泉小学校では、「子どもの未来保障（石狩管内教育推進の重点）」を受け、学校経営の重点目標を『夢の実現に向け行動する子ども』としました。そして、連携・接続する3つの小中学校で、「①かんがえ、つたえあう子 ②おもいやりのある子 ③すこやかな子」という『めざす子ども像』を共有しています。全職員でこの意識を共有し、授業で伸ばして、学習環境・生活環境を整え、『やさしさいっぱい』の大麻泉小学校の子どもたちをいつくしみ育てているところです。



校長 高橋 恒雄

私たち大人も、子どもの学びに寄り添いながら、自らも学び、「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」などのしくみを活用しながら、新しい時代に適応していくことが求められています。小中がつながり、学校と家庭・地域とが手を取りあって、子どもの夢を育てる学校づくりを進めてまいります。

教育目標：やさしさいっぱい大麻泉の子 ～思いやりのある子ども・進んで考える子ども・明るく元気な子ども

▶令和7年度も以下の取組を“進化”させながら進めていきます

1. 令和5年度から始まった小中一貫教育が今年で3年目を迎えます。“夢”の実現に向け、9年間の学びを効率的につなぐため、小中の教科書や教育課程の系統表を活用した系統的な指導に努めます。また、関係する3校（大麻東中、大麻東小と本校）で学習および生活のスタンダードを共有する等、中学校進学時の不安を軽減する取組も進めます。

◆小中一貫教育でめざす子ども像＜大麻東中学校区共通＞◆

- おもいやりのある子（心）・・優しい心で 協働できる子
- かんがえ、つたえあう子（知）知性を磨き 表現する子
- すこやかな子（体）・・・・自己実現に向けて 心身を鍛える子

2. 授業では、子どもが主体となる授業づくりを進め、ICTを効果的に活用し、質の高い「対話」を学習場面に設定することで深い学びを導きます。

教育活動全体では、「土器づくり」や「田植え体験」等、江別の歴史や産業につながりがある体験的な活動を織り交ぜ、教科横断的に子どもたちに必要とされる資質・能力を育成します。



子どもの手で企画・運営する運動会

3. 学習内容が確実に定着するよう、AIドリル「スマイルネクスト」を効果的に活用します。また、情報図書館と連携し「朝読書」の充実を図り、全ての学びの基盤となる豊かな語彙力を育みます。更に子どもの表現活動に脚光を当て、表現する意欲を引き出します。

4. 「小中一貫教育」「えべつ型コミュニティ・スクール」等の機能を活かし、社会に開かれた教育課程の実現をめざします。夢を語りながら未来の社会を築いていく子どもたちのため、学校・保護者・地域が「あたたかく」つながりあうコミュニティづくりを進めます。



MY DREAM：夢を英語で表現(6年・英語)
未来のわたし(6年・図工)